

東京放射線

Tokyo Association of Radiological Technologists

2023年
10月号
Vol.70 No.820

巻頭言

タスク・シフト/シェアの注意と入会促進 野口幸作

会 告

地球環境保全活動 荒川河川敷清掃 <荒川クリーンエイド2023 北区 荒川岩淵関緑地>

お知らせ

2023年度第3地区研修会

報 告

公益社団法人東京都診療放射線技師会 第75回定期総会(抄)

2022年度 表彰 受賞者

連 載

[消化管造影検査] 第5部 大腸・注腸X線検査
第17回 番外編 ～バリウム製剤について②～ 安藤健一

研修会等申込書

登録事項変更届



公益社団法人東京都診療放射線技師会
<https://www.tart.jp/>

スローガン

チーム医療を推進し、

国民及び世界に貢献する

診療放射線技師の育成

2023
OCT

CONTENTS

目次

診療放射線技師業務標準化宣言	2
巻頭言 タスク・シフト/シェアの注意と入会促進	3
会告1 2023年度城西支部研修会	4
会告2 地球環境保全活動 荒川河川敷清掃 ＜荒川クリーンエイド2023 北区 荒川岩淵関緑地＞	5
会告3 第147回日暮里塾ワンコインセミナー	6
会告4 第18回ペイシエントケア学術大会	7
お知らせ1 2023年度第3地区研修会	8
お知らせ2 2023年度第13地区研修会	9
お知らせ3 2023年度第14地区研修会	10
お知らせ4 2023年度第5地区研修会	11
お知らせ5 東放技会所属地区のご案内	12
報告 公益社団法人東京都診療放射線技師会 第75回定期総会(抄)	14
2022年度 表彰 受賞者	23
連載 [消化管造影検査] 第5部 大腸・注腸X線検査 第17回 番外編 ～バリウム製剤について②～	24
こ え	
・「第71回きめこまかな生涯教育」に参加して	30
・「第71回きめこまかな生涯教育(放射線計測学に必要な統計と不確かさの考え方)」 に参加して	31
パイプライン	
・日本診療放射線技師連盟ニュース(2023 No.7)	32
・日本診療放射線技師連盟ニュース(2023 No.8)	33
・超音波画像研究会 第29回腹部エコー初心者講習会	34
2023年4月～8月期会員動向	35
研修会等申込書	38
登録事項変更届	39

Column & Information

・東放技入会無料のお知らせ	13
・東放見聞録	36
・学術講演会・研修会等の開催予定	37

診療放射線技師 業務標準化宣言

いま我が国では「安心して安全な医療の提供」が国民から求められている。そして厚生医療の基本である「医療の質の向上」に向けて全ての医療職種が参加し、恒常的に活動をする必要がある。

私達が携わる放射線技術及び医用画像技術を含む診療放射線技師業務全般についても、国民から信頼される普遍的な安全技術を用いて、公開しなくてはならない。そして近年、グローバルスタンダードの潮流として、EBM (Evidence Based Medicine)、インフォームドコンセント、リスクマネジメント、医療文化の醸成、地球環境保全なども重要な社会的要求事項となっている。

公益社団法人東京都診療放射線技師会では、『国民から信頼され選ばれる医療』の一員を目指し、診療放射線技師の役割を明確にするとともに、各種業務の標準化システム構築を宣言する。

診療放射線技師業務標準化には以下の項目が含まれるものとする。

1. ペイシェントケア
2. 技術、知識の利用
3. 被ばく管理（最適化／低減）
4. 品質管理
5. 機器管理（始終業点検／保守／メンテナンス）
6. 個人情報管理（守秘／保護／保管）
7. 教育（日常教育／訓練／生涯教育）
8. リスクマネジメント
 - ～患者識別
 - ～事故防止
 - ～感染防止
 - ～災害時対応
9. 環境マネジメント（地球環境保全）
10. 評価システムの構築

公益社団法人東京都診療放射線技師会

巻頭言



タスク・シフト/シェアの注意と 入会促進

副会長 野口幸作

2021年度より公益社団法人日本診療放射線技師会主催の告示研修を東京都で実施している。2021年度は2回、2022年度18回、本年度4回開催し、797名の受講者が修了している。これは、全国で断トツのトップと思っていたが、北海道の後塵を拝している現状である。そこで、告示研修をもう一度整理したいと考える。時間外労働、土日勤務など荷重労働が大きい医師に対して、医師の働き方改革の一環で、私たち診療放射線技師をはじめ、臨床検査技師、臨床工学技士、救急救命士にタスク・シフト/シェアとして、業務範囲の拡大が2021年10月の法改正でなされた。これを根拠に、告示研修として、静脈路確保、CT・RI他の血管確保、動脈、上・下部消化管検査等をe-learningと実技研修という形で行っている。

いよいよ2024年度より、医師の時間外労働の制限が設けられる。これに関しての詳細はここでは述べないが、各医療機関での各々の対応が迫ってきていることは事実である。しかし、医師の負担軽減策を無理強いを進めることで、最終的に患者に危害や不利益があってはならない。明確な安全管理体制の構築は絶対的に必要なことである。懸念されることは、タスク・シフト/シェアされることにより、業務負担となり職場環境の悪化となることである。各施設において対応策は異なると思うが、安全を担保しつつ、現場の声も反映し、できることからタスク・シフト/シェアを進めていただけたらと考える。皆さまには、告示研修を未受講であっても、タスク・シフト/シェアについて検討していただきたい。本年度は11月、1月、2月とあと6回の開催で準備を進めているので、職場の指導的立場の方には、是非とも告示研修を受講して何が必要かも含めて理解していただきたいと考えている。

今年の2月に開催した臨時総会において、2年の時限規程ではあるが、会費減額と入会費無料が本年度よりスタートしている。これを契機に入会促進委員会を発足し、新入会のテコ入れを行っている。入会促進チラシが会誌と同封で送られてきたことは、ご承知のことと思う。また、私も、最近の研修会等において、入会のすゝめとして10分程度の話をしている。会員にチラシを配布しても…、研修会で入会の話をされても…と思うかもしれない。いいえ。会員や研修会に参加している方への周知を通じて、技師会や入会のメリットを理解していただき、これを聞いた方一人ひとりが入会促進委員となって、職場の上司、同僚、新人、友人等々に話をしていただき、是非とも入会を勧めていただきたいと考えている。私が考えるメリットの一例を列記すると、①技師会は公益法人、②さまざまな生涯教育コンテンツと受講が会員価格、③東放技の一部のセミナー参加費が新卒新入会員無料、④学術大会参加で取得できる最新の技術と知識の情報、⑤加入できる技師保険、⑥現在、会費減額期間中、⑦仲間をたくさん作ることができる、などたくさんある。上記の告示研修のこともあるし、今後の業務拡大への対応にも情報共有ができる。組織率50%を目指して、会員の皆さまのご協力をお願いする次第である。

2023年度 城西支部研修会 (Web開催)

テーマ「救急医療最前線 高エネルギー外傷」

～救急医療での診療放射線技師の役割～

高エネルギー外傷とは、まさに名前の通りで、高いエネルギーが加わって生じた外傷のことをいいます。このような患者さんが救急搬送されてくる場合には、撮影を担う診療放射線技師も重篤な外傷が起こっているかもしれないと身構えて診療に臨む必要があります。今回救急現場での診療放射線技師の役割と心構えについて、症例を交えて解説していただきます。

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

～ プログラム ～

1 「外傷初期診療における放射線科の重要性」

帝京大学医学部放射線科学講座 釘宮 愛子 先生

2 「外傷診療における診療放射線技師の役割とHERS !!」

済生会横浜市東部病院 放射線部 稲垣 直之 先生

記

日 時：2023年11月10日（金）19時00分～20時30分

開催方式：Web開催（Zoom）

受講料：無 料

定 員：100名（先着順）

申込方法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

参加人数に上限がありますのでお早めにお申し込みください。

申込締切日：2023年11月3日（金）

問い合わせ：城西支部 E-Mail：shibu_jyousai@tart.jp

第3地区委員長 布川嘉信

第9地区委員長 西郷洋子

第10地区委員長 澤田恒久

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

地球環境保全活動 荒川河川敷清掃 ＜荒川クリーンエイド2023 北区 荒川岩淵関緑地＞

主催：北区まちづくり道路公園課/特定非営利団体 荒川クリーンエイド・フォーラム

第5地区では、活動目的の一つとして環境保全ボランティア活動を行っております。

本年度も北区主催による『荒川クリーンエイド』が開催されることとなり、参加企画を致しました。ふだんあまり立ち入る機会がない河川敷を、宝探し感覚で参加してみませんか??

皆さま、ふるって参加くださいますようご案内申し上げます。

記

日 時：2023年10月29日（日）10時00分～12時00分（受付開始：9時30分～）

*雨天の場合中止

会 場 名：荒川岩淵関緑地（バーベキュー場付近）

会 場 住 所：東京都北区岩淵町23番45号先 荒川岩淵関緑地

*現地集合になります。技師会スタッフジャンパーを目印にお集まりください。

ア ク セ ス：JR赤羽駅 東口下車 徒歩約20分

東京メトロ南北線 赤羽岩淵駅1番出口より 徒歩約15分

王子駅または赤羽駅より都バス「王57系統」岩淵町停留所下車 徒歩約10分

参 加 料：無 料

申 込 方 法：感染防止の観点から事前登録が必要なため、参加希望の方は必ず下記（問い合わせ先）へメールでお申し込みください。

詳細な案内（開催の有無等）を、ご連絡させていただきます。

申込締切日：2023年10月25日（水）

問い合わせ：第5地区委員長 中田健太 E-Mail：area05@tart.jp

以上

会 告 3

第147回日暮里塾ワンコインセミナー（Web開催） テーマ「造影剤副作用に対する取り組みと院内緊急コール症例の解析」

講師：順天堂大学医学部附属順天堂医院 佐藤 英幸 氏

第147回日暮里塾ワンコインセミナーもWeb開催と致します。

今回の日暮里塾ワンコインセミナーは、造影剤の副作用について勉強していきたいと思います。順天堂大学医学部附属順天堂医院の佐藤英幸先生を講師に迎え、順天堂大学医学部附属順天堂医院での造影剤副作用に対する取り組みや院内救急コール症例の解析結果についてご講義いただきます。日頃からの取り組みが重要となる副作用対策の参考になると思います。ぜひご参加の程よろしくお願い致します。

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2023年11月21日（火）19時00分～20時00分

開催方式：Web開催（Zoom）

受講料：無 料

申込方法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

※参加者にはURL、パスワードを返信致します。

定 員：定員は特に設けておりません

申込締切日：2023年11月14日（火）

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修1.0カウント付与

問い合わせ：教育委員長 小林隆幸 E-Mail：kyouiku@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

第18回ペイシェントケア学術大会 テーマ「AIを活用した近未来医療」

第18回ペイシェントケア学術大会は会場で対面形式の開催とさせていただきます。

今、さまざまな業種において重要視されている分野でもあり、医療業界においても例外ではない、人工知能「AI」についてスポットをあて、今回のテーマとさせていただきました。

現在、そして未来に向け患者さまのために「AI」がどのように活用され進化していくのか、各分野の第一線でご活躍されている先生方をお招きしご発表いただきます。人工知能「AI」について理解を深め、共有したいと考えております。

事前登録とさせていただきます。参加費については当日会場受付にて徴収致します。参加者の皆さまが安心してご参加できるよう、感染予防対策を講じて開催致しますのでご協力をお願いします。

多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

～ プログラム ～

13:00 開 会 式

13:05 シンポジウム テーマ「医療現場でのAIの活用 ～現状と展望～」

東京医科大学病院	横山 剛 氏（診療放射線技師）
KNI 北原国際病院	森田真由美 氏（看護師）
杏林大学医学部附属病院	若林 進 氏（薬剤師）
日本大学医学部附属板橋病院	相馬 史 氏（臨床検査技師）
東京女子医科大学病院	石森 勇 氏（臨床工学技士）

14:30 特 別 講 演 「韓国における人工知能 (AI) を活用した放射線検査とソウル特別市放射線士会の紹介(仮)」

講師：ソウル特別市放射線士会 講師未定

15:00 都民公開講座 「人工知能により近未来の医療はどのように変わるのか？」

講師：日本大学生産工学部 講師 大前 佑斗 先生

16:00 閉 会 式

記

日 時：2023年11月25日（土）13時00分～16時00分

開 催 場 所：駒澤大学 駒沢キャンパス（東京都世田谷区駒沢1-23-1）

受 講 料：診療放射線技師 1,000円、他職種及び一般参加・新卒かつ新入会員※ 無料

申 込 方 法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

定 員：特に定員人数は設けておりませんが事前登録をお願い致します。

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修3.0カウント付与

問い合わせ：学術委員長 市川篤志 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう。

お知らせ 1

2023年度 第3地区研修会 (Web開催)

テーマ「学ぼう！ 心臓疾患」 ～各モダリティのアプローチ～

日中業務や休日・夜間帯に、倦怠感、息切れ、むくみ、動悸、痛みなどの有症状があり心疾患を疑って検査依頼を受けることがあります。われわれ診療放射線技師は診断から治療、その後のフォローまで理解して対応することが必要です。

第3地区研修会では、去年の研修会に引き続いて疾患をテーマにしてモダリティごとに撮影法や対応について解説します。今回は、MRI・Angio・RIに加えて臨床工学技士の先生を迎え、補助循環についても解説していただきます。ご参加をお待ちしています。

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

～ プログラム ～

1 「introduction」	国立がん研究センター東病院	若松 和行 氏
2 「MRI」	東京女子医科大学病院	椎名 勲 氏
3 「FFRCT Angio」	慶應義塾大学病院	木津 啓介 氏
4 「補助循環」	東京医科大学病院 臨床工学部 臨床工学技士	橋本 尚樹 氏
5 「核医学」	国立国際医療研究センター病院	齋藤 郁里 氏

記

日 時：2023年10月13日（金）19時00分～20時45分

開催方式：Web開催（Zoom）

受講料：無 料

定 員：100名（先着順）

申込方法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

参加人数に上限がありますのでお早めにお申し込みください。

申込締切日：2023年10月7日（土）

問い合わせ：第3地区委員長 布川嘉信 E-Mail：area03@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

2023年度 第13地区研修会 (Web開催)

テーマ「令和3年4月1日施行・改正電離放射線障害防止規則からの変化」

令和3年4月1日より「改正電離放射線障害防止規則」が施行・適用され2年が経ちました。皆さまのご施設の運用は落ち着いてきましたでしょうか。

今回第13地区では、法令改正後の変化と現場での実際の運用に関して研修会を開催致します。

1つ目は、株式会社千代田テクノルより講師を招き、法令改正後の変化をメーカーのデータなども交えてお話しいただきます。

2つ目は、現場で実際に運用されている施設より、改正前の準備・改正後の運用・今後の対応などをお話しいただきます。より良い運用実現のため皆さまのアドバイスもいただけると幸いです。

多くのご参加をお待ちしております。

～ 内 容 ～

①「水晶体線量限度引き下げ後の従事者被ばく防護」

講師：株式会社千代田テクノル 線量計測技術課 副主事 古谷 一隆 氏

②「水晶体線量限度引き下げに向けての当院の対応、その後の運用」

講師：公立阿伎留医療センター 岩本 達志 氏

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。参加人数に上限がありますので早めにお申し込みください。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2023年11月9日（木）19時00分～20時30分（講演時間：約30分×2名＋質疑応答）

開催方式：Web開催（Zoom）

定 員：50名（先着順）

受講料：無 料

申込方法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2023年11月6日（月）

問い合わせ：第13地区委員長 鮎川幸司 E-Mail：area13@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

お知らせ 3

2023年度 第14地区研修会（Web開催）

テーマ「Z世代学生の就職動向」

講 師：群馬パース大学 今尾 仁 先生

本年度の第14地区研修会では、コロナ禍をオンライン授業で過ごして来た、Z世代学生の就職動向について、実際に教育の現場で就職に携わる先生からお話を伺います。

来年度から入職してくる若手の世代は、コロナウイルスの影響でオンライン授業を受けてきた新しい価値観の世代になります。さらに、今後、高齢者増加、若年者減少の影響は拡大する一方で、人材確保はより大きな課題となることでしょう。今後の職場環境や教育を考える上で、ご興味のある方、詳しくお知りになりたい方など、多くの方々のご参加をお待ちしております。

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。参加人数に上限がありますので早めにお申し込みください。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2023年11月24日（金）19時00分～19時45分

開催方式：Web開催（Zoom）

定 員：50名

受講料：無 料

申込方法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2023年11月17日（金）

問い合わせ：第14地区委員長 宮谷勝巳 E-Mail：area14@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

2023年度 第5地区研修会〈ハイブリッド開催〉

テーマ「急性期脳梗塞診療の最前線」

～患者さんを救う脳卒中診療の【脳力：knowledge】を高めよう～

講 師：日本医科大学付属病院 脳神経内科 齊藤 智成 先生

脳卒中は、がん、心臓病とともに三大疾病と呼ばれ、近年の日本人の死因としては第4位であり、日々の救急診療でもよく遭遇する疾患です。脳卒中の中でも、特に急性期脳梗塞に対する治療は、局所血栓回収療法、血栓溶解療法の普及により、この10年で目覚ましい進歩と発展を遂げており、これまでは寝たきりとなるような脳主幹動脈閉塞症例でも歩いて帰れる時代が訪れています。これには、病歴の聴取・神経学的診察やさまざまな職種の連携、適切な画像診断および治療を行い迅速な再灌流療法を実現する必要があります。

私たち診療放射線技師は急性期脳梗塞の診断や治療の過程で、さまざまな画像を用いて診療を支える重要な役割を担っていますが、普段かかわりのある部分は診療の一部であり、脳梗塞の発症から診断、治療とその後の経過について理解を深めていくことはチーム医療を支える一員として重要だと考えます。

2023年度の第5地区研修会では、日本医科大学付属病院 脳神経内科 齊藤智成先生を講師に迎え、脳梗塞診療の現状について幅広くご紹介していただきます。皆さまのご参加をお待ちしております。

※8月4日開催予定でしたが、諸事情により開催日が変更となりましたことをお詫び申し上げます。

8月4日開催で参加登録された皆さまは、登録不要です。Zoom：ID等をお知らせ致します。

【Web参加希望の皆さまへ】

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。

【会場参加希望の皆さまへ】

新型コロナウイルス感染状況により、Web配信のみの開催形式とさせていただく場合もございます。

記

日 時：2023年12月1日（金）19時00分～20時00分

受 講 料：無 料

定 員：会場 20名、Web 50名（各先着順）

申 込 方 法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2023年11月25日（土）

問い合わせ：第5地区委員長 中田健太 E-Mail：area05@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

以上

お知らせ 5

あなたはご自分の所属地区をご存じですか？

東京都診療放射線技師会は、東京を13の地区に分け、東京に隣接する千葉方面・神奈川方面・埼玉方面を加えた計16地区で構成されています。

本会ホームページ <https://www.tart.jp/> には各地区の表が掲載されています。

“当会の概要” から“支部・地区一覧表”をお選びください。

公益社団法人
東京都診療放射線技師会

一般の方へ 当会の概要 入会案内・各種手続き 研修会・イベント情報 求人情報 お問い合わせ

HOME > 当会の概要 > 支部・地区一覧表

支部・地区一覧表

東京都診療放射線技師会では、東京を13の地区に分け、東京に隣接する神奈川・千葉・埼玉を加えた計16地区で構成し、技師会をより多くの診療放射線技師の皆さんに、また一般の方に「診療放射線技師」を知っていただこうと日々活動をしています。

各地区紹介ページ

城東支部	第1地区	千代田区	地区紹介 PDF
	第2地区	中央区、台東区	地区紹介 PDF
	第7地区	墨田区、江戸川区、江東区	地区紹介 PDF

地区紹介PDF

また、“地区紹介PDF”では各地区の特色や活動を写真入りで紹介しています。
こちらもぜひご覧ください。

情報委員会

技師会入るなら今がチャンス！

令和5,6年度に限り

新入会（新卒、既卒を問わず）無料キャンペーン



東京都診療放射線技師会
新卒・既卒問わず会費
5,000円



0円

必要となる技師会費は

日本診療放射線技師会(JART) + 東京都診療放射線技師会(TART)

お得！

たとえば、技師免許取得年度に入会する者
JART（初年度会費5,000円+ **入会費無料**）

+ TART（~~5,000円~~） 今だけ0円 = 5,000円

JART年会費 5,000円のみでOK！

まだまだお得な情報が沢山！詳細はこちら→



HPへGo!



公益社団法人 東京都診療放射線技師会

公益社団法人東京都診療放射線技師会 第75回定期総会(抄)

日時：2023年6月17日(土) 14時00分～

会場：一橋大学 一橋講堂

鈴木総務委員長：只今より、第75回公益社団法人東京都診療放射線技師会定期総会を開会致します。開会に先立ちまして、今回は新型コロナウイルス感染症防止対策を施しての総会になることをご認識ください。まず、はじめに物故会員の方々へ黙祷を捧げたいと存じます。2022年度物故者は西澤睦夫様、直井勝己様です。皆さまご起立願います。黙祷。ご着席ください。それでは、はじめに江田哲男会長よりご挨拶を申し上げます。



受付風景

江田会長：本日はご多忙の中、公益社団法人東京都診療放射線技師会第75回定期総会へご参集いただき、大変ありがとうございます。4年ぶりに対面での総会開催となりますことを大変嬉しく思います。本日は、本年度の事業計画・予算の報告と3つの議案について皆さまから活発なご意見を頂戴して、実りある総会にしたいと存じます。本日は、どうぞ宜しくお願いします。

鈴木総務委員長：次に、通常ではご来賓よりご祝辞をいただくところですが、今回は、新型コロナウイルス予防対策の一環で、来賓をお呼びしておりません。次に総会議事に先立ち、表彰を執り行います。2022年度における、地域功労賞・特別功労賞・功労賞・労働精励賞・学術奨励賞・小野賞の表彰及び感謝状の贈呈を執り行います。担当の委員長に表彰者の発表をお願い致します。

高野渉外委員長：2022年度の表彰を行います。氏名をお呼びしますので、受賞者の方々は、その場でご起立ください。はじめに、公益社団法人日本診療放射線技師会表彰規程第10条による、地域功労表彰を行います。これは、各都道府県診療放射線技師会の役員として、日本診療放射線技師会の発展に関し、功績および貢献が顕著

であった方に公益社団法人日本診療放射線技師会より贈られます。地域功労賞受賞者は、宮谷勝巳さんです。宮谷勝巳さん、前方へお願い致します。



地域功労賞：宮谷会員

【賞状授与】 おめでとうございます。

続きまして、本会表彰規程第3条第2項第1号により特別功労賞の表彰を行います。特別功労賞は、30年以上にわたり放射線業務に精励し、会長、副会長または委員長として10年以上の永きにわたり当会の役員を歴任され、適正な事業遂行と発展に尽力された方に、その功績を称え理事会の決定により表彰致します。受賞者は、小田正記さん、葛西一隆さん、石田秀樹さん、平瀬繁男さんです。代表して葛西一隆さん、前方へお進みください。



特別功労賞：葛西名誉会員

【賞状授与】 おめでとうございます。

続いて本会表彰規程第3条第2項第2号により功労賞の表彰を行います。功労賞は、20年以上にわたり放射線業務に精励し、委員長として5年以上の役員を歴任された方、または委員長および委員として15年以上の間、当会の運営・活動に尽力された方に、その功績を称え理事会の決定により表彰致します。受賞者は、矢野孝好さん、

目黒一浩さんです。代表して矢野孝好さん、前方へ願
いします。



【賞状授与】 おめでとうございます。

続きまして、本会表彰規程第3条第2項第6号により労
働精励賞の表彰を行います。労働精励賞は、20年以上放
射線業務に精励し、会員として15年以上、本会活動にご
協力いただいた方々に送られます。労働精励賞受賞の17
名の皆さまをご紹介致します。富丸佳一さん、成澤幸利
さん、小川昌希さん、大澤 享さん、芝田太郎さん、隅
真一郎さん、鈴木 勝さん、高木弓子さん、小野博史さん、
三浦茂樹さん、竹内啓祐さん、若松和行さん、齊藤ふみ
子さん、折原浩志さん、金剛寺智之さん、増田祥代さん、
小美野高志さんです。17名を代表して若松和行さん、前
方へ願います。



【賞状授与】 おめでとうございます。

続いて本会表彰規程第3条第2項第4号により奨励賞の
表彰を行います。はじめに新人奨励賞の2名を紹介致し
ます。お一人目は、演題名「ディープラーニングを用い
た胸部X線画像病変検出ソフトウェアの初期使用経験」
東京医科大学病院 市原舞衣さんです。お二人目、演題
名「当院における撮影線量管理方法について」東京医科
大学八王子医療センター 池本裕貴さんです。本日、ご
都合によりお二方は欠席されております。続いて学術奨
励賞を受賞された方を紹介致します。演題名「放射線治
療患者への栄養食事指導の導入」公立福生病院 土谷健
人さんです。土谷健人さん、前方へ願います。



【賞状授与】 おめでとうございます。

続きまして、本会表彰規程第3条第2項第5号により小
野賞の表彰を行います。小野賞は多年にわたり本会活動
ならびに地域医療に貢献された方々を対象に、各委員会
からの推薦を受け理事会の承認を受けた方々に贈られま
す。受賞者は、岡本淳一さん、齊藤誠治さんです。代表
して齊藤誠治さん、前方へ願います。

【賞状授与】 おめでとうございます。各賞受賞の皆
さま、おめでとうございます。総会終了後に、記念撮
影を行います。受賞された皆さまはご着席のままお待ち
ください。

鈴木総務委員長：これで表彰を終了致します。それでは
本総会の総会運営委員をご紹介致します。総会運営委員
は総会運営規程により各支部から選出されております。
総会運営委員として、富丸佳一さん、上高大明さん、佐
藤成実さん、森 諒輔さん、加藤夏生さん、以上5名です。
総会運営委員長は、富丸佳一さんです、よろしくお願い
します。

富丸総会運営委員長：本会の代議員数は、退会、転出等
の関係もあり、現在、73名です。総会成立代議員数は
本会定款第21条により、全代議員の過半数の出席者数
37名以上であります。現時点での代議員の出席状況およ
び、書面表決出席状況をご説明致します。総会出席者数
41名、委任状数26名のうち、有効数16名、議長2名分を
除き合計55名、従いましてこの第75回定期総会は成立
することをご報告致します。総会運営委員会委員長 富
丸佳一。

鈴木総務委員長：それでは、本総会の議長を選出したい
と存じます。会場より立候補の方はいらっしゃいますか。
立候補された方は壇上の方へおいでください。それでは
議長よろしく願致します。

議長立候補者：第9地区の西郷洋子です、よろしく願
います。第13地区の上利武生です、よろしく願
います。

西郷議長：今回の総会の報告事項「2023年度事業計画」



と「2023年度予算」を西郷が担当し、第1号議案「2022年度事業報告(案)」、第2号議案「2022年度決算報告(案)」、「監査報告」、第3号議案「定款改正(案)」を上利議長に担当していただきます。はじめに議事に入ります前に、総会職員の任命についてお諮り致します。別紙資料を配布しておりますのでご承認をお願いします。本日の議事録署名人は議長の西郷、上利議長と、全出席理事となります。次に、総会の運営について総会運営委員会報告を富丸総会運営委員長よりお願いします。

富丸総会運営委員長：総会運営委員会よりご報告申し上げます。只今の時刻は14時26分です。これより、報告1「2023年度事業計画」、報告2「2023年度予算」、第1号議案「2022年度事業報告(案)」、第2号議案「2022年度決算報告(案)」、「監査報告」、第3号議案「定款改正(案)」以上、報告から第3号議案までを15時26分までにご審議をお願いします。

代議員の皆さま方の活発なご意見とご協力をお願いします。総会運営委員会委員長 富丸佳一。

西郷議長：只今の報告について、異議はございませんでしょうか。異議がないようですので、報告の通り議事を進めさせていただきます。続きまして議事の進め方についてお諮り致します。議案ごとに審議し、採決を行いたいと存じます。なお、採決の方法は、反対、保留、賛成の順で挙手をもって行いたいと存じますが、異議はございませんでしょうか。異議がないようですので、議事に入ります。それでは、報告「2023年度事業計画」につ



いてご説明をお願いします。

江田会長：2023年度事業計画、総括、2019年から始まった新型コロナウイルス感染症拡大により、国内外で対策に追われ続けてから4年目となる。この感染症拡大にともない、本会の活動も大きな転換を余儀なくされた。大きな転換は、講習会や各委員会等の会議をほぼWeb方式としたことである。この方式を導入したことにより、交通費や会場費等の発生が抑制され、事業の支出が大幅に軽減された。また、各委員にとっては希望する場所で安易に参加できるようになり、以前よりも発言しやすくなったと感じる。今後もこの方式を活用して活発な意見交換を実施する。地区の活性化を目的に会長・副会長が各地区の委員会に参加させていただき、地区からの意見などを傾聴し、地区の活性化を図っていくと共に地区から得られた意見を今後の事業活動の参考とする。昨年から開始された「告示研修」については、公益社団法人日本診療放射線技師会と協調し、円滑に告示研修が開催できるように実施し、多くの受講者が受講できるような環境を提供する。新たに設置される委員会を含めて三つの委員会を中心に事業を展開していく。一つ目の委員会は「放射線相談委員会」を組織的に活動し、一般の方々へ放射線被ばくの相談や知識について啓発する。また、会員には医療放射線被ばく・放射線従事者被ばく等の管理方法についての相談等を実施する。二つ目の委員会は「定款諸規程等検討委員会」を通じて、本会規程の見直しを行い時代に即した規程見直しを実施する。三つ目の委員会は、次年度から2年間の制限付であるが会費削減を実施する。この間に入会促進を目指すため「入会促進委員会」を設置し、入会促進に向けての活動を積極的に実施する。また、公益目的事業の規模拡大や資産取得資金について検討する。以下に、2023年度の主な事業計画案を挙げる。1.Webを使用した会議・セミナーの開催 2.地区の活性化を目的にした地区委員との親睦 3.告示研修開催に向けての環境作り 4.放射線相談委員会と状況を共有し、広く東京都民の相談に対応する 5.時代に即した本会規程等の見直し 6.入会促進事業を推進するために「入会促進委員会」を設置する 7.公益目的事業の規模拡大および資産取得資金の積立金についての検討。本会は以上の事業計画に則り、診療放射線技術の発展と安全・安心に医療を東京都民に対し、提供できるための努力を行い公益法人として透明性のある事業活動を行う。役員、会員の皆さまには、一層のご支援と積極的な会務への参画をお願いする次第である。以上、ご報告となります。

西郷議長：これより質疑に入ります。恐れ入りますが、発言者の方、所属地区、氏名を述べてから、発言をお願いします。質問に対しては執行部より回答致します。



第14地区河手代議員：事業計画にある二つの委員会について伺いを致します。先ず「入会促進委員会」については具体的にどのような活動をしていくのか教えていただきたい。

江田会長：ご質問をありがとうございます。現時点では断言はできませんが、入会のメリットについてのチラシなどを作成し配布することを検討しています。

第14地区河手代議員：委員会活動の経過報告などあればお教え願いたい。

江田会長：現在、委員会で協議を重ねており、本年度の秋頃には形になるように準備を進めております。

また、こちらにも完全には断言できませんが、本会のホームページに入会に関するページを設置し、より入会の手続きが分かりやすいようにしていくことも検討していく予定です。

第14地区河手代議員：「放射線相談委員会」についても伺います。これまで寄せられた質問などを、会誌などに掲載することは考えていますか。

江田会長：寄せられた相談内容においては個人情報なども含まれるので、全てを開示できるとは限りませんが委員会内でこれから検討していく予定でおります。可能な範囲で代表的な内容のFAQなどを会誌やホームページなどに掲載し、会員などへ啓発ができればと考えております。また、「放射線相談委員会」の活動は公益性の高い活動内容であり、これまでも一般の方からのご質問に対し、たいへん質の高い回答をしていただいております。会員の皆さまにも活動内容を知っていただきたく思っております。

第14地区河手代議員：ありがとうございました。

西郷議長：その他意見はないようですので、次に、報告「2023年度予算」についてご説明をお願いします。

関経理委員長：2023年度予算の概略を説明させていた

だきます。会誌6月号に掲載しております。事業計画にもありましたように、新型コロナウイルスの感染状況が好転することを前提にして、例年どおりの事業開催を想定した予算となっております。受取会費は、前年度実績を参考にして算出しておりますが、前年度実績における過年度の会費入金は予算においては加味しないなど、やや保守的に見積もりしたため同額にして2,300万円、賛助会員受取会費10万円を計上致しました。また同様に、研修会事業収益100万円、親睦会事業収益250万円、広告収益180万円、雑収益60万円を計上致しました。従いまして、経常収益合計は、2,903万0500円となります。経常費用は、事業費と管理費とに大きくわかれております。事業費は、技師会の事業活動を推進するために使うもので、管理費は事務所運営や法人全般の管理に使う費用です。会議費と旅費交通費については、Web併用による会議の増加により、前年度予算より減額しております。消耗品費については、現在の世情を鑑みて事務員の在宅勤務対策、Webによる会議、e-ラーニングを含む研修会のWeb設備の充実、感染症対策の強化をしていくためです。印刷製本費については、会誌の発行部数により流動しますが、やや増額しております。諸謝金については、前期実績を参考にして計上致しましたが、コロナ禍やコロナ明けもあり、研修会開催については流動性の大きいところであります。その他の科目については資料をご確認ください。

事業費と管理費を合わせて、経常費用合計は、2,903万0500円となります。また、予算案は、地区委員会にて供覧いただき、理事会の承認を得て、3月31日までに作成して、東京都へ提出済みであります。以上、ご報告致します。



西郷議長：これより質疑に入ります。恐れ入りますが、発言者の方、所属地区、氏名を述べてから、発言をお願いします。質問に対しては執行部より回答致します。

西郷議長：意見はないようですので、報告は終了とさせていただきます。

上利議長：それでは、これより議案にうつらせていただきます。第1号議案「2022年度事業報告(案)」についてご説明をお願いします。

江田会長：2022年度事業報告案、総括2022年度も新型コロナウイルス感染症の対策に迫られた一年であった。東京都診療放射線技師会も、感染拡大防止への対応として、本会（地区開催含む）及び日本診療放射線技師会主催の講習会・勉強会等をほぼWeb方式での開催とした。総会も前年度同様、代議員による書面表決方式とせざるをえなかった。2022年度は通常の定期総会と2月に「会費額の変更に伴う規程の改正」について臨時総会を開催し、承認された。この改正により、2023年度から2年間は新卒、既卒問わず初めて本会へ入会する場合は会費無料となる。また65歳以上の会費減額も実施できるようになり、入会促進および会員継続の環境を2年間ではあるが会員増加への環境づくりを整えることができた。学術交流協定を結んでいるソウル特別市放射線士会とは2023年3月に本会から4名の会員がSRTA主催の学術大会へ参加し、2演題の学術発表を行った。「チーム医療」の推進事業としては、2月に一橋講堂にて「接遇の達人をめざして！」をテーマに第17回パシエントケア学術大会を対面形式で開催した。本学術大会では、東京都看護協会様、東京都臨床検査技師会様、他団体からもご協力を得て、外国人や耳の不自由な方とのコミュニケーション方法や接遇の在り方について、専門の方々にご講演をいただいた。また、医師の働き方改革、タスク・シフト/シェアを推進するために業務拡大が実施されている施設の実情などについてシンポジウムを実施し、導入にいたるまでの問題点や導入後の問題点、利点などについて意見が交わされ、参加された方々には、ご自分の施設で導入するまでの取り組み方への知識を深めることができたと考える。本学術大会を企画実施していただいた学術及び教育委員会の方々をはじめ、実行委員の皆さまにあらためて感謝を申し上げます。診療放射線技師法改正に伴う告示研修や以前から実施している統一講習会については、公益社団法人日本診療放射線技師会と共に協力しながら精力的に事業を推進させた。本会の優秀なファシリテーターにより、本年度は告示研修が12回開催され、529名の方々が修了している。学術関係では、サマーセミナーにて「ちょっと教えて！乳房撮影検査」をWeb開催し、68名の参加が得られた。また、ウインターセミナーでは「オンコロジーーがん治療について考えるー」をテーマに開催した。薬品メーカーおよび各施設から体部領域を「胸部」「腹部」「骨盤」と区分けし

て、各領域から発症する「がん」について講義が行われた。また、11月には日本放射線技術学会東京支部と合同で「防護と遮蔽をアップデート！」をテーマにして学術大会も開催した。教育関係では、日本診療放射線技師会と共催して「フレッシューズセミナー」を2回開催し、145名の参加があった。SR (Social Responsibility：社会的責任) 活動では、災害対策研修会を3月に放射線部門における災害対策を専門とする著名な4名の講師を招聘してWebにて研修会を実施した。また、「地球環境保全活動」の一環として「中央区クリーンデー」、「荒川クリーンエイド2022」へも参加し、本会地区委員が中心となりボランティア活動へも参加した。放射線関連の広報活動としては、東京都内で開催された健康フェスティバルへ参加した。その他、各地区・各支部にて定例どおり、本会事業内容に則して研修会を精力的に開催した。皆さまには本会事業・活動の推進に対し、多大なご理解をいただいたことに感謝申し上げますとともに、新年度も今まで以上に都民・国民・会員のために本会の事業を推進する所存であり、皆さま方のより一層のご支援とご協力をお願いする次第である。



Web配信風景・宇津野理事・竹安理事

上利議長：これより質疑に入ります。恐れ入りますが、発言者の方は所属地区、氏名を述べてから、発言をお願いします。質問に対しては執行部より回答致します。

第14地区河手代議員：資料5.2) 本会の活動に関する図書の刊行について伺いをします。刊行物の会誌「東京放射線」は理解できますが、診療放射線技師および放射線医療に役立つ学術資料を刊行しますというのは具体的にどのようなものでしょうか。また、発刊はありましたでしょうか。

小林教育委員長：略語集やMR集中講習会のテキストがそれに当たります。昨年度、改定などはございませんでしたので、新規発行（改訂）はありません。略語集に関しましては、フレッシューズセミナーの参加者へお渡しをし、MR集中講習会のテキストに関しましては、同様の講習会や勉強会といったものが他の団体で行われるよ

うになってきていますので、こちらを当会の事業として継続していくかは審議しているところでございます。

第14地区河手代議員：本年度の発刊予定はございますか。

小林教育委員長：昨年と同様に検討しながら進めてまいります。

第14地区河手代議員：先ほどご紹介いただいたテキストは、講習会に参加しなくても購入可能でしょうか。

小林教育委員長：本会からではなく、出版社から発刊されているものですので購入可能です。小売店頭の情報などは、こちら答弁では差し控えさせていただきます。

第14地区河手代議員：ありがとうございます。

上利議長：他にご質問ございませんでしょうか。なければ質疑を終わり本件について採決を行います。採決係の皆さん準備をお願いします。反対の方、挙手をお願いします。保留の方、挙手をお願いします。賛成の方、挙手をお願いします。



富丸総会運営委員長：只今の採決の結果を報告致します。有効投票数55票、反対：0票、保留：0票、賛成：55票です。

上利議長：結果、賛成多数にて可決されました。それでは第2号議案の2022年度決算報告(案)を議題と致します。執行部より報告をお願いします。

関経理委員長：第2号議案の、2022年度の決算報告をさせていただきます。会誌6月号に掲載しております。事業報告にもありましたとおり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、事業は中止または延期となるものがありました。Webシステムの活用で、研修会、広報活動などは多く開催できました。まず、43ページの貸借対照表よりご説明致します。これは法人の3月31日現在の財産状況を示しており、資産合計と負債及び正味財産の合計とが一致しております。事前に資料を配布しておりますので、特徴的なものについて説明し、金額については端数の読み上げを省略させていただきます。固定資産の特定資産に計上している、研修センター拡張等積立資金を、本年度は、100万円計上しており、前年度

と合わせて2,100万円となっています。また、建物と土地ですが、建物部分について前年度より67万円ほど減少しています。これは、事務所の取得金額から経年的に減価償却されたものです。建物附属設備、什器備品についても同様に取得金額から経年的に減価償却されたものです。次に負債の部になります。まず、未払い金、預り金については、3月末日までに支払うことができなかったものを、収益ではなく負債として計上しており、4月以降に支払うものです。

以上により、当年度末の資産は、9,385万円となっています。次に、44、45ページに正味財産増減計算書を示しております。また、その内訳表を46、47ページに示しております。内訳表の右側に、参考のために予算との差異(A-B)を掲載しました。以下、主に内訳表で予算と差異がある箇所について説明させていただきます。受取会費は、正会員2,484万円と賛助会員97,000円となっております。入会者と退会者のバランスで、60万円の増収となっております。事業収益は、事業の中止などの影響で、研修会事業収益は減少しており、親睦会事業収益では、事業の実施はありませんでした。広告収益は前年度よりやや増加しており200万円となっております。次に、経常費用にうつりますが、事業費と管理費とに大きくわかれております。事業費は、技師会の事業活動を推進するために使うもので、管理費は事務所運営や法人全般の管理に使う費用です。事業費から特徴のあるところを説明致します。会議開催の増加により、会議費の増加となっております。また、会議や研修会の対面開催により旅費交通費が増加しております。印刷製本費については、70周年記念誌の発行によるものが影響しておりましたが、当年度は減少しております。支払手数料は、対面ではなく振込による支払いが増加した影響となっております。広報関連費も、対面で活発な活動に戻りつつあるため、増加となっております。諸謝金については、当年度は、地区、支部をはじめとする研修会が活発に開催されたこと、コロナ明けで流動的なところもあり、増加となっております。45ページの管理費についても同様の傾向となっております。以上のような内容により、最終的に経常収益は2,749万円、経常費用が2,646万円となり、当期経常増減額が、1,026,919円となります。ただし、この金額には、会計基準により計上している減価償却費が含まれます。減価償却費は、計上されていますが、購入した時に費用を支払っているもので、実際には現金預金の流出を伴わない費用です。コロナ禍の影響で先が見通せない状況ではありますが、新しい時代に

見合った事業を展開していく所存であります。以上で決算報告と致します。ご承認よろしくお願い致します。



上利議長：それでは2022年度監査報告を致します。監事より報告をお願いします。

野田・白木監事：野田でございます。白木でございます。

白木監事：私たち監事は、令和5年4月25日に本会事務所において、2022年度の理事の職務の執行を監査しました。その方法及び結果について次のとおり報告します。「1、監査の方法及びその内容」各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席し、理事及び使用人等からその務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討しました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討しました。「2、監査意見」（1）事業報告等の監査結果については、一、事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。二、理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する事実は認められません。また、本年度は事業以外の部分で大変な出来事がありましたが、役員の皆さんは本会や会員のために、適切に献身的に取り組んでおられる様子が伺えました。

野田監事：（2）計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果については、私、野田から。計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。以上、ご報告申し上げます。

野田・白木監事：監事 野田扇三郎、監事 白木 尚。

上利議長：会場の代議員の方で、ご質問、ご意見は、ございませんか？

第8地区中西代議員：会誌43ページの研修センター拡張

等積立資産について、昨年度の積み立て費が100万円となっていますが、そちらの根拠をご説明願います。

野口副会長：事業展開において、毎年の金額設定はしておりません。次年度の繰越金も踏まえて事業展開に支障のない金額を積み立てております。ですので、2022年度は経理と協議をした上で理事会へ提出しております。

第8地区中西代議員：仮に、本年度の余剰金によっては100万円というわけではなく、変動するということでしょうか。

野口副会長：その通りでございます。

第8地区中西代議員：そちらの余剰金を積み立てではなく、会員に還元するとはいかないのでしょうか。

野口副会長：具体的な案などございますか。

第8地区中西代議員：会費減額を時限的ではなく、継続することはできないのでしょうか。こちらについては、私も地区で意見として述べておりますが、各地区委員会からは意見が挙がっていると推測します。研修センター拡張等の積み立てに関しては、毎年1万円でもいいわけですね。今、会員が増えてきていて、活動資金が潤沢になってきていると思いますが、そちらを会員に還元していただけたらと思います。



野口副会長：会費減額に関しては、組織率向上も踏まえて動いております。ですので、会員に還元といった一つの物差しでは測れないです。そういった部分も含めて検討した結果、2022年度の積み立てはこちらの額となりました。

江田会長：会費について2年間据え置きというのは入会促進が大きな理由となります。臨時総会の時にも出ていたと思いますが、会費については2年後改めて継続するかどうかを審議するという認識でいます。また、100万円を会員2,400名に対して還元するとなると、一人頭に還元できるのは微々たるものとなってしまいます。

貸借対照表には、研修センター拡張等積立資産という形で計上しておりますが、先ほど私がご報告したように2023年度事業計画の7番目に記載してある“公益目的事

業の規模拡大および資産取得資金の積立金についての検討”がちょうどここに当たります。従って、研修センター拡張積み立て資産というのは、会員に限らず公益目的の事業拡大としての認識も持っていただけるとありがたいと思います。

第8地区中西代議員：ありがとうございました。

上利議長：ほかにご質問ございませんでしょうか。ないようなので、採決を行います。採決係の皆さん準備をお願いします。反対の方、挙手をお願いします。保留の方、挙手をお願いします。賛成の方、挙手をお願いします。



富丸総会運営委員長：只今の採決の結果を報告致します。有効投票数55票、反対：0票、保留：0票、賛成：55票です。

上利議長：結果、賛成多数にて可決されました。それでは第3号議案の定款改正(案)を議題と致します。執行部より説明をお願いします。

野口定款諸規程等検討委員長：定款改正(案)に関して、説明させていただきます。第4条第1項第3号におきまして、本会は、公益社団法人であり、定款、規程に則って、事業及び会務運営がなされなければなりません。本会の目的は定款に記載されており、その目的を達成するために6つの事業を行うこととしております。そこで、今回、第4条第1項第3号において、放射線関連機器の安全を推進する事業としておりますが、公益申請時の医療機器の安全管理責任者養成研修会の名残であり、東京都への事業計画申請において、医療機器及び資材の改良に関する事業を行う記載もあり、医療機器のみでは、なかなか当てはまる事業展開が難しい現状がありました、それは兼ねてより懸案であり、過去の総会においても質問を受けたこともあります。そこで、現在、改正された医療法施行規則にもある、医療放射線の安全管理の部分を追記させていただくとともに、東京都への計画申請事項も修正することで、多様な事業展開を目指すことができると考えております。具体的には、医療機器及び医療放射線安全管理に関する研修会の開催、医療放射線安全管理に関

する質問、被ばく相談などもこの事業の一環となる予定です。これは、この定款改正案が本総会を通ったら、東京都の方へ変更届出として提出する方向性であります。続きまして、第13条の代議員及び予備代議員の選出に關してですが、第6項では、第2号において、現状、第12条第2項に規定しているように、地区に1名の予備代議員を選出しております。地区からなので、地区において代議員が欠けた場合の対応としており、誰の代議員の予備なのか明確にはしていませんし、1名であるので、優先順位も設定していません。よって、削除し、第1号を第6項に含めることで対応可能と考えております。第22条第3項は、指定の条項の誤記であり、修正とさせていただきます。第25条第2項に関しては、現在、中澤元会長時代の担当副会長制を復活しております。これは、会員や地区・専門部・特別委員会からの情報収集、情報共有を目的にしており、会長も特別委員会（入会促進委員会、国際委員会）を担当しております。その影響もあり、会長・副会長の業務が過多の状況であります。また、他県の技師会も副会長3名制を敷いているところもあり、副会長の増員と、業務執行権限を付与することで、会務の円滑な遂行を図る目的であります。同様に、第27条第2項に、会長を補佐し業務としての分担執行を記載しております。第28条第3項、第4項に関しては、「述べること。」「行使すること。」と、やや冗切れトロボの記載となっているので、「述べることができる。」「行使することができる。」と、できる条項としております。第29条第3項、第35条第2号も、指定の条項の誤記であり、修正とさせていただきます。最後に、改正の日時を記載するため、附則を追記させていただきます。説明は以上であります。代議員の皆さま、ご審議の程、何卒よろしくお願い申し致します。

上利議長：会場の代議員の方で、ご質問、ご意見は、ございませんか？

第14地区河手代議員：第25条第2項に関して、副会長を3名体制にする予定があるということでしょうか。

江田会長：野口定款諸規程等検討委員長のご説明にもありましたが、現在会長1名・副会長2名にて多くの委員会、そしてさまざまなイベントに参加させていただいております。こういった中で、業務を緩和するために増員することを希望しております。また、首都圏の技師会なども3名体制が一般的となっています。各地区の活性化をするために今後は4名体制でより活発な事業展開を行っていきたい所存です。

第14地区河手代議員：追加される副会長は決定してい

るのですか。

江田会長：まだ、決定しておりません。副会長3名体制となりましたら、多くの地区事業やイベントに参加し、活動を“見える化”して事業の活性化を後押ししていければと思います。

第14地区河手代議員：ありがとうございました。

上利議長：ほかにご質問ございませんでしょうか。ないようなので、採決を行います。採決係の皆さん準備をお願いします。反対の方、挙手をお願いします。保留の方、挙手をお願いします。賛成の方、挙手をお願いします。



会場風景 3

富丸総会運営委員長：只今の採決の結果を報告致します。有効投票数55票、反対：0票、保留：0票、賛成：55票です。

上利議長：結果、賛成多数にて可決されました。以上をもちまして、第75回定期総会の議事を終了させていただきます。只今をもって議長を解任させていただきます。皆さまのご協力に感謝申し上げます。

鈴木総務委員長：西郷、上利議長、総会運営委員会 富丸委員長、ありがとうございました。滞りなく審議を終了し、改めて感謝申し上げます。以上で本日の全日程が終了致しました。野口副会長より閉会のご挨拶を申し上げます。

野口副会長：今日は、第75回定期総会にご参集いただき、誠にありがとうございました。4年ぶりの会場型での総会がこのような会場で開催され、代議員の皆さまと協議できたことは大変うれしく思っております。本日の皆さまからのご意見を汲みつつ、今後も皆さまと情報共有しながら、事業及び会務を進めていきたいと考えております。何卒よろしくお願い申し上げます。最後に私の方からひとつだけお話をさせていただきます。先の臨時総会において会費に関する規程及び時限規程が通り、本年度及び次年度の会費減額、及び入会時の会費無料、60歳以上の会費減免で進めております。これは一重に、新入会の増加及び退会者減を目指しております。組織率の向上が至上命題であります。ここにいらっしゃる代議員、役員、会員の皆さまにも協力いただき、組織率向上にお力添えをいただきたいと思いますので、ご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。皆さまへのお願いをして、閉会の挨拶に代えさせていただきます。本日は本当にありがとうございました。

鈴木総務委員長：以上をもちまして、第75回公益社団法人東京都診療放射線技師会定期総会を終了させていただきます。本日はありがとうございました。



役員・代議員

2022年度 表彰 受賞者

【特別功労賞】

運営幹事会	小田 正記	創価大学
運営幹事会	石田 秀樹	昭和大学江東豊洲病院
運営幹事会	葛西 一隆	千葉衛生福祉協会千葉診療所
第3地区	平瀬 繁男	東京医科大学病院

【功労賞】

経理委員会	矢野 孝好	日本大学病院
第4地区	目黒 一浩	東京都済生会中央病院

【労働精励賞（勤続20年表彰）】

第1地区	増田 祥代	三井記念病院
第1地区	大澤 享	三井住友銀行東京健康サポートセンター
第2地区	小野 博史	ライフ・エクステンション研究所付属 永寿総合病院
第3地区	若松 和行	国立がん研究センター東病院
第3地区	三浦 茂樹	慶應義塾大学病院
第3地区	高木 弓子	
第5地区	折原 浩志	赤羽中央総合病院
第6地区	鈴木 勝	東京女子医科大学八千代医療センター
第7地区	富丸 佳一	京葉病院
第8地区	小川 昌希	NTT東日本関東病院
第9地区	芝田 太郎	金子病院
第10地区	齊藤ふみ子	順天堂大学医学部附属練馬病院
第10地区	小美野高志	順天堂大学医学部附属浦安病院
第12地区	成澤 幸利	田無病院
第13地区	竹内 啓祐	稲城市立病院
第14地区	隅 真一郎	昭和大学横浜市北部病院
第16地区	金剛寺智之	後谷診療所

【小野賞】

厚生調査委員会	齊藤 誠治	井口病院
学術委員会	岡本 淳一	東京医科大学病院

【学術奨励賞】

土谷 健人	公立福生病院
-------	--------

【新人奨励賞】

市原 舞衣	東京医科大学病院
池本 裕貴	東京医科大学八王子医療センター

【地域功労賞】（公益社団法人日本診療放射線技師会 表彰）

宮谷 勝巳	松戸市立総合医療センター
-------	--------------



特別功労賞



労働精励賞



地域功労賞



学術奨励賞



功労賞



小野賞

～バリウム製剤について②～

みさと健和病院 安藤 健一

これまで消化管造影検査連載企画では、上部消化管X線検査について、X線TV装置の機器精度管理について、食道・胃・小腸・大腸の症例について連載してきました。

そして現在は『大腸・注腸X線検査』について連載させていただいております。

新シリーズでは、これまで大腸の解剖生理・注腸X線検査の前処置・撮影法・画像評価法、そして臨床画像・臨床症例について、取り上げてきました。引き続きどうぞよろしくお願い致します。

前回のおさらい

今回は、大腸・注腸X線検査から離れて、番外編としてバリウム製剤の基本的な事柄についてお話しさせていただきました。

硫酸バリウム製剤について(図1)、上部消化管用の高濃度低粘性バリウム製剤の特性について(図2)お話しさせていただきました。具体的には、

高濃度製剤の特徴・利点として、粗粒子を主体とした配合による高濃度低粘性化により、洗浄効果・付着効果が優れ、コントラストが向上します。また、高濃度のため少量飲用となり、二重造影の描出範囲が拡大します(特に前壁二重造影で)。そして、低粘性のため飲みやすくなっております。問題点としては、バリウム懸濁液の飲用量が少なくなるので、従来の充盈像の撮影・評価が難しい等が挙げられます。そのためそれらを補うため、基準撮影法では付着効果、粘膜面の描出を意識した二重造影中心の撮影・読影となっております。また、高濃度製剤の使用に際しての注意点としては、少量の水で大きく濃度に変化する点です。

また、高濃度製剤の根幹となる、硫酸バリウムの粒子径についても説明させていただきました。硫酸バリウム製剤の大きさは、造影剤としての性質に、大きな影響を与えます。電子顕微鏡でみたそれぞれの粒子径は、微粒子は $1\mu\text{m}$ 前後、中粒子は $3\sim 5\mu\text{m}$ 、粗粒子は $10\mu\text{m}$ 以上となります(図3)。

硫酸バリウム粒子の大きさが異なると、その表面積も異なります(図4)。

硫酸バリウムの特性

- ・白色結晶(粒子状)
- ・化学式: BaSO_4 (Ba原子番号: 56)
- ・X線減弱率が高い
- ・化学的に安定している
- ・水に対して難溶性である
- ・酸やアルカリ(胃腸液)に溶解しない
- ・消化管から吸収されずそのまま排泄される
- ・安価である

図1

高濃度硫酸バリウム製剤に求められる条件

- ・高密度によるコントラストの増強
- ・高比重による洗浄効果の向上
- ・粘度が低く、胃内での流動性・拡散性が良い
- ・造影効果(粘膜描出能・Baの切れ)が良い
- ・耐酸性に優れ、胃内での凝集を起こさない
- ・服用量減少による受診者の負担軽減
- ・少量服用による二重造影の描出域の拡大

図2

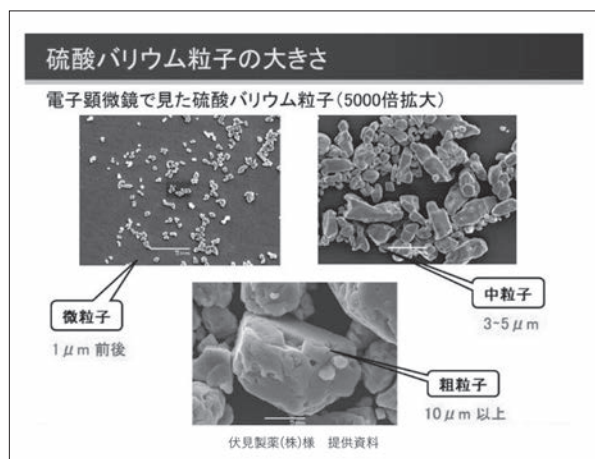


図3

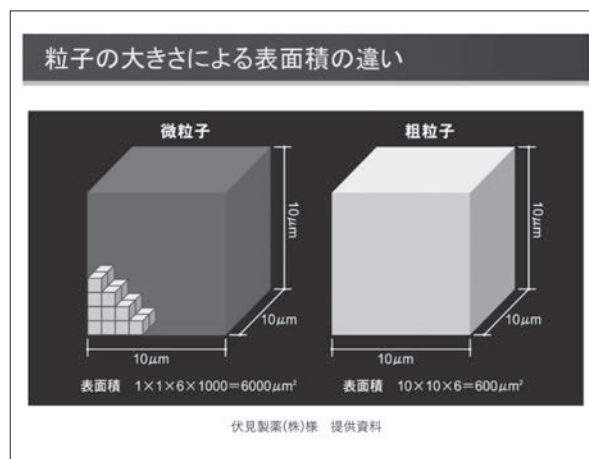


図4

この表面積の違いが、懸濁液の性質に影響します。同じ体積の場合、粗粒子より微粒子の表面積が大きくなり、一つずつの粒子を濡らすのには水が多く必要になります。よって粗粒子は少ない水量でも懸濁が可能となります。これらのことより、理論的にも微粒子では高濃度での懸濁が難しく、粗粒子では高濃度での懸濁が可能となることが理解できると思います。各バリウム製剤の違いは、このそれぞれの粒子径の配合の違いによるところが非常に大きくなります。

また、上部消化管用の高濃度バリウム製剤を使用する際の留意点としては、特に添加する水量と服用時の温度管理が非常に重要となります（詳しくは前回の第16回をご参照ください）。

今回は、発泡剤について、バリウム服用時の安全情報としての有害事象について、下部消化管（注腸）用バリウム製剤について、お話しさせていただきます。

1 発泡剤について

陰性造影剤である発泡剤についてです。先ず大前提として、日本消化器がん検診学会胃がん検診精度管理委員会によりまとめられた「新・胃X線撮影法ガイドライン（改訂版2011年）」では、高濃度低粘性硫酸バリウムの使用とされ、具体的には200w/v%以上、150mL前後、発泡剤は5gが妥当とされています。同様に、NPO法人日本消化器がん検診精度管理評価機構の基準撮影法でも、高濃度低粘性硫酸バリウム粉末製剤で、具

体的には200～230w/v%、150mL前後、発泡剤は5gを用いるとされています。各種ガイドライン・基準撮影法において、発泡剤5gの使用が規定されています。前壁撮影を含めて全領域を二重造影で撮影が求められる現在は、検査時の状況において胃内の空気量の減少、または追加撮影において、発泡剤の追加服用が必要になる場面もしばしばあります。

次に、発泡剤における発泡の基本原理についてですが、発泡剤は、炭酸水素ナトリウムと酒石酸の配合剤です。これに水が加わると化学反応が起こり、炭酸ガスを発生します。理論上1gの発泡剤からは約123mLの炭酸ガスが発生します（0℃、1気圧の条件下で）。

実際の検査の5g服用時は胃内において約615mLの炭酸ガスが発生することになります（図5）。

次に発泡剤の取り扱いの注意点についてです。主成分である炭酸水素ナトリウムは、高温（約

発泡剤発泡の原理

$$2\text{NaHCO}_3 + \text{C}_4\text{H}_6\text{O}_6 \xrightarrow{\text{H}_2\text{O}} \text{Na}_2\text{C}_4\text{H}_4\text{O}_6 + 2\text{CO}_2 + 2\text{H}_2\text{O}$$

炭酸水素ナトリウム 酒石酸 酒石酸ナトリウム 炭酸ガス 水

炭酸水素ナトリウム(重曹)と酒石酸の化学反応を利用して炭酸ガスを発生

理論上1gの発泡顆粒から
約123mLの炭酸ガスが発生(0℃、1気圧時)

図5

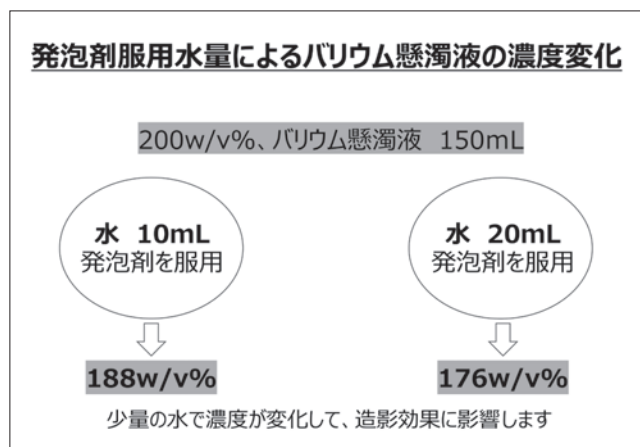


図6

50℃以上)で炭酸ガスと水に分解してしまいます。一旦水が発生すると、どんどん反応が進んでしまうため、注意する必要があります。湿度の高い場所や、検診車内等の高温になる可能性のある場所での放置は避け、室温で保管することが求められます。

また、発泡剤を服用する時の水が、硫酸バリウム製剤の濃度に大きく影響します。高濃度製剤では、少量の水でも濃度が大きく変化しますので注意する必要があります。具体的には、200w/v%のバリウム懸濁液150mLを10mLの水で服用した場合は188w/v%に、20mLの水で服用した場合は176w/v%に、それぞれ濃度低下をきたします。これらは造影効果に大きく影響することに繋がりますので発泡剤服用時の水についても慎重に検討する必要があります(図6)。

対策として、バリウム懸濁液で発泡剤を服用する方法があります。その際は、発泡顆粒の残泡を考慮する必要があります。

2 | 注腸X線検査用バリウム製剤について

現在市販されている注腸用硫酸バリウム製剤の一覧をお示しします(図7)。

最近では、注腸X線検査の専用のバリウム製剤は限られてきているのが現状です。当院で使用している、注腸X線検査用の粉末バリウム製剤についてご説明致します。

使用に際しての特徴として以下の3つが挙げられます。1) 腸管内においてバリウムの凝集、ひ

注腸X線検査用製剤				
	エネマスター 注腸散	バリエネマ300	バリエネマLC	バリエネマ HD75%
剤形	粉末(散剤)	懸濁液剤 コンピネーション製剤		
包装	400g/袋	300mL/本	400mL/本	300mL/本
硫酸バリウム濃度	(用時調製)	60w/v%	30w/v%	75w/v%
薬価 (令和5年4月改正)	14.80円/10g (592円/1袋)	1470.90円/1個	1057.40円/1個	1743.10円/1個
製造販売元	伏見製薬所	日医工		

伏見製薬(株)様 提供資料

図7

エネマスター注腸散の特徴について

- 腸内においてバリウムの凝集、ひび割れが発生しにくい。
- 大腸の微小、微細病変の描出能が良好である。
- 注腸(大腸)専用硫酸バリウム造影剤としては唯一の粉末製剤。

図8

び割れが発生しにくいです。2) 大腸の微小、微細病変の描出能が良好で優れています。3) 注腸(大腸)専用硫酸バリウム造影剤としては初の粉末製剤になります。粉末のため用時調製ができ、前処置の状況に応じて(腸内残存水分量の程度に応じて)濃度調製も可能です(図8)。

注腸X線検査用の粉末製剤と上部消化管用の粉末製剤の違いについてですが、同じ粉末製剤ですが一番の違いは、硫酸バリウムの粒子径になります。上部消化管用の高濃度低粘性バリウム製剤は、粒子径が粗粒子中心となりますが、注腸X線検査用の粉末製剤は、微粒子中心の配合となります(図9)。

濃度による流動性についてですが、濃度が90w/v%~130w/v%と高くなるとともに粘度も高くなる傾向があります。特に高い濃度で使用する際は、粘度が高くなり流動性が悪くなるので、温度管理を意識する(少し高めに工夫する)必要があります(図10)。

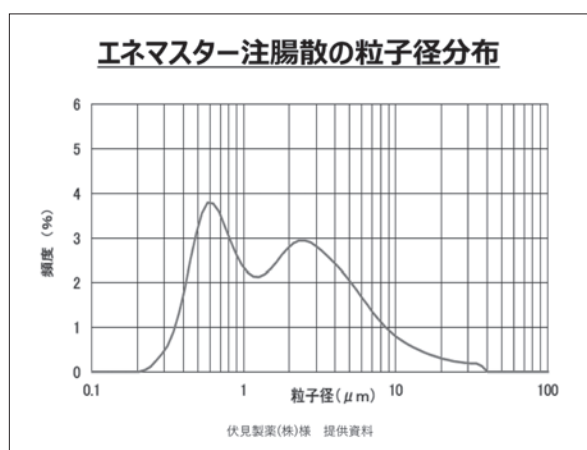


図9

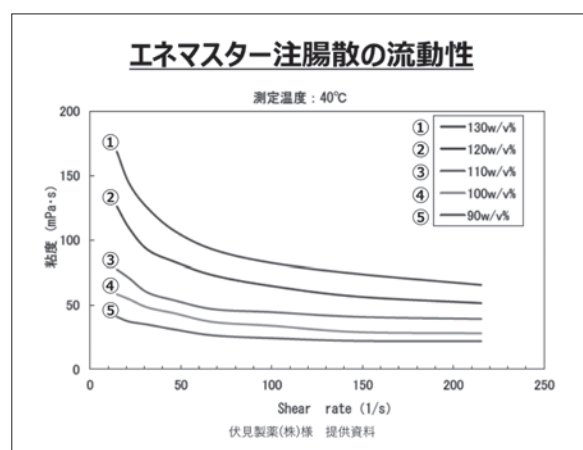


図10

3 | 臨床画像

症例は、下行結腸遠位側の2型の大腸癌です。ここで注目してほしいのは、バリウム付着と粘膜描出についてです。S状結腸の粘膜の微細構造が明瞭に描出されております（図11～図13）。

大腸の正常粘膜表面には腸管短軸方向にほぼ平行して走る無数の微細な溝があり、無名溝と呼ばれます。無名溝には時に交叉し、これによって

囲まれるやや細長い“小区”があり、微細網目構造となっています。これは網目像（fine network pattern：FNP）と呼ばれます（図14）。

病変部分ではこの構造が消失し、組織学的な病変部分と一致していると言われます。このFNPはX線造影像で再現可能な最小単位であり、大腸二重造影像の基本像となります。しかし、1cm前後の病変の描出には依存せず、良好な付着の二重造影でも必ずしもFNPが明瞭に描出されるわけではありません。

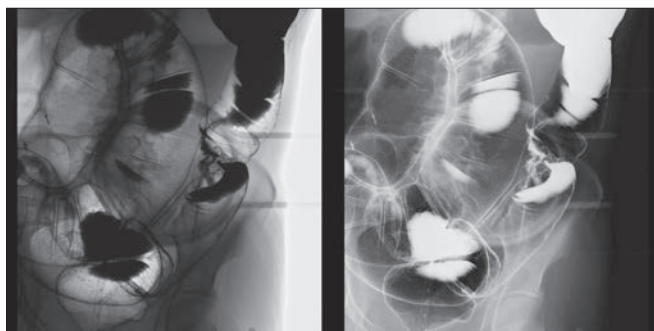


図11

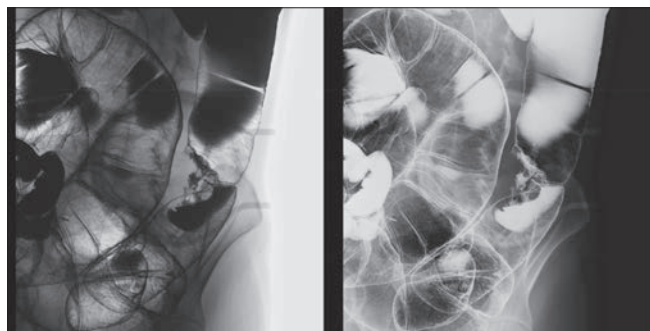


図12

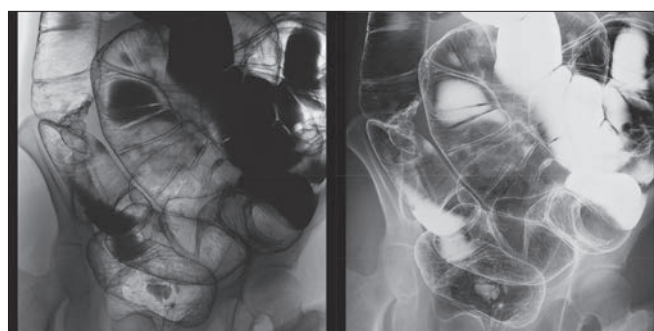


図13

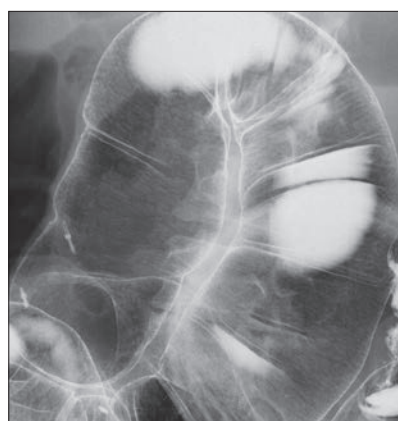


図14



図 15

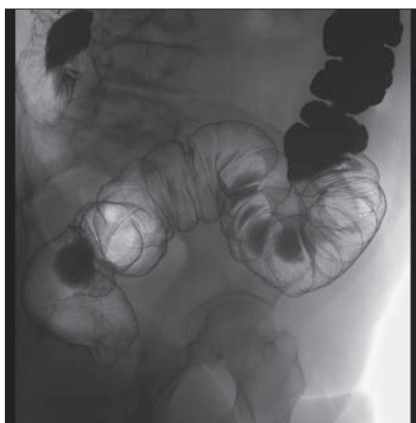


図 16

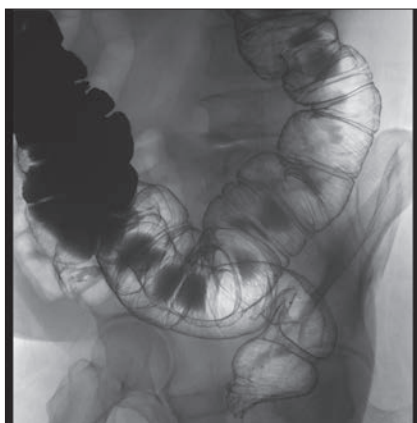


図 17

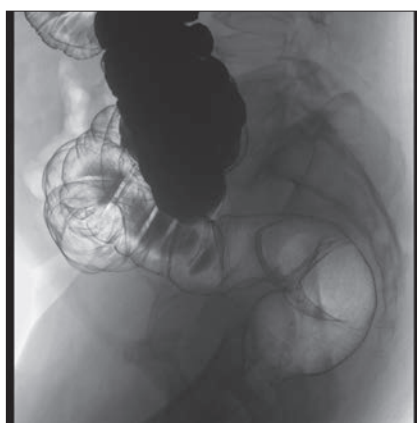


図 18

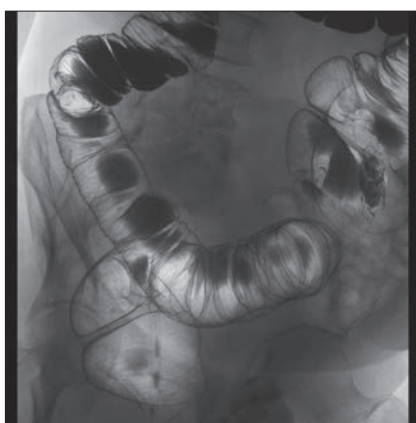


図 19

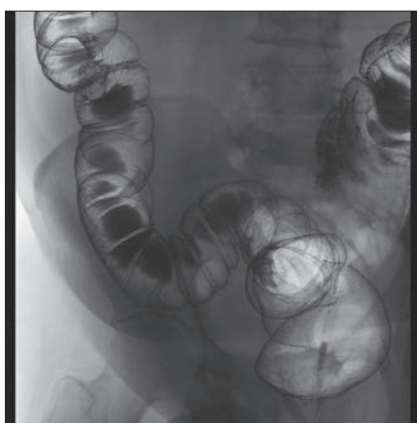


図 20



図 21

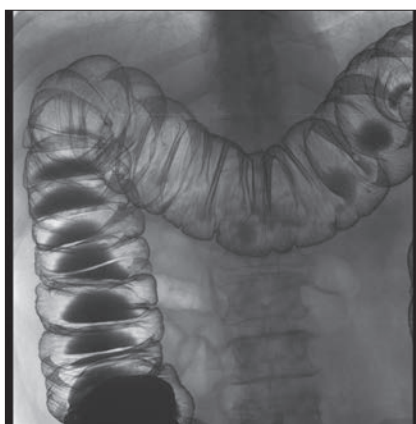


図 22

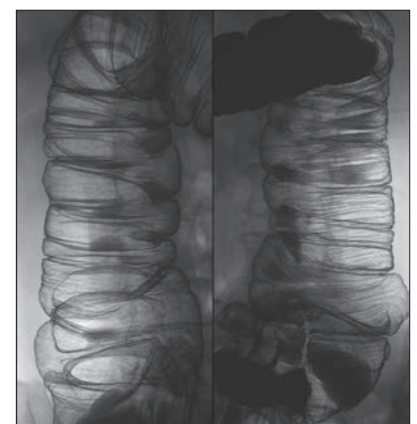


図 23



図 24



図 25



図 26



図27

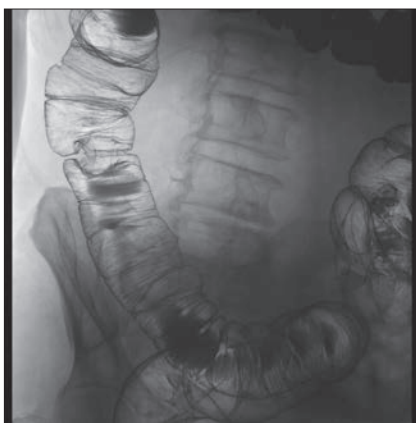


図28

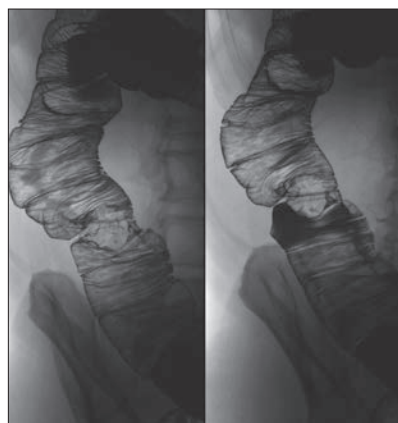


図29

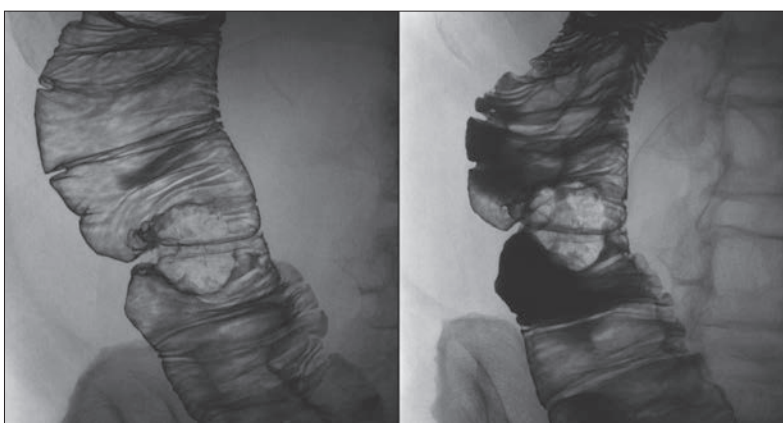


図30

症例は、下行結腸中央腹側の2型の大腸癌です。直腸から右側結腸に至るまで、良好な付着効果が保たれており、病変部の性状も明瞭に描出されています（図15～図30）。

4 | おわりに

今回は、発泡剤についてと、注腸X線検査用の硫酸バリウム製剤の特徴について、ご説明させていただきました。連載の一連の掲載画像は注腸（大腸）専用の粉末バリウム製剤を使用して撮影されています。

謝辞

今回、伏見製薬（株）様より、資料提供を頂きましたことに深謝致します。

参考文献

- 伏見製薬（株）様からの資料提供

「第71回きめこまかな生涯教育」に参加して

日本大学医学部附属板橋病院 大久保智史

2023年7月1日土曜日に日暮里の東京都診療放射線技師会事務所で行われた、きめこまかな生涯教育セミナーに参加させていただきました。新型コロナも5類になり、東京都診療放射線技師会にとっても規制解除後初めての会場開催とのことでした。事務所入口には非接触型体温測定器があり、各机にも消毒液や手拭きなどがあり感染対策もしっかり行われていました。

今回のテーマは、群馬県立県民健康科学大学 診療放射線学部 診療放射線学科 助教 津野隼人 先生による「放射線計測学に必要な統計と不確かさの考え方」という題目でした。私自身、学生時代から数学が非常に苦手で、また学問としても統計学を学んでこなかったもので1から勉強するつもりで参加させていただきました。実際の講義は平均値や中央値など統計に必要な言葉の解説から始まり、統計処理へと進みました。私自身、日常では標準偏差を求めることも多々ありますが、表計算ソフトを使用すれば簡単に答えを出すことができます。しかし中身についてはしっかり理解しているわけではないということに気づかされました。答えを導く過程を一つ一つ手計算で解いていくことにより、理解を深めることができました。統計学を学んでこなかった私にとっては、楽しくもあり有意義な時間でもありました。その後、検定の講義に進みました。私たちが比較を行う時、何気なく使う有意差検定ですが、これもソフトを使えば簡単に答えが求められます。しかし求めるまでもいろいろな準備が必要なこと、正規分布などの意味についても基礎から細かく教えていただけたことでさらに理解を深めることができました。この時点であっという間に予

定されていた講義時間が来てしまい、津野先生は時間配分を間違えてしまい申し訳ないとおっしゃってくださいましたが、会場の熱気も熱く技師会委員の方が先生に了解を得て、休憩をはさんで講義続行となりました。休憩後は自由参加となりましたがほとんどの方がそのまま講義に参加され、不確かさの講義へと続き、最後まで聴講することができました。配ってくださった資料も付録が多く記載されていて自分自身で学習できるようにもなっていました。今回講義を受けてみて、ほんやりとしていた部分が鮮明になり、非常に有意義な時間と、学ぶことの楽しさが得られた講義であったというのが私の率直な感想です。このようなすばらしい講義を受けている学生がうらやましくなりました。

実は今回私は夜勤明けでの参加となり、途中寝てしまうのではないかと心配していました。しかし先生の楽しい講義に引き込まれてあっという間に時間がたってしまいました。

改めて、すばらしい講義をお忙しい中準備してくださった津野先生、またこのような機会を設けてくださった技師会委員の皆さまに感謝申し上げます。



こ え

「第71回きめこまかな生涯教育（放射線計測学に必要な統計と不確かさの考え方）」に参加して

JR東京総合病院 西 航平

2023年7月1日（土）に、日暮里の東京都診療放射線技師会研修センターで行われた「第71回きめこまかな生涯教育」に参加しました。当日は平均値や中央値、四分位数などの統計処理における基礎的な部分を学び、その後、正規分布やt検定、不確かさの計算について受講しました。

Excelで標準偏差を求める場合、STDEV.SとSTDEV.Pがありますが、放射線計測では何故n-1で割るSTDEV.Sを用いるのかという部分を図で示していただき、実際に自分で計算することで理解を深めることができました。また、標準偏差はサンプルに対するばらつきを表すのに対し、変動係数は平均値に対する相対的なばらつきを表しているため、標準偏差の大きさが異なっても、平均値が異なれば変動係数の大小が逆転する例があることも学ぶことができました。

t検定については、これまで目にする機会はありましたが、難しそうという固定観念から避けていました。しかし、パラメトリック検定（正規分布に従う）であること、手順やExcelで実施する方法を学ぶこ

とができ、もっと勉強してみようと前向きになれるいい機会となりました。

不確かさについてもt検定と同様に目にする機会は多くありましたが、受講するまではほんやりとしか理解できていない状況でした。今回の講義で、不確かさとはばらつきを特徴づけるパラメータであり、これによりトレーサビリティが保証されるということが理解できました。また、不確かさの算出には、講義前半で学んだ標準偏差、変動係数が密接に関わっており、不確かさを求める対象が違えば評価方法も変わってくるということが分かりました。放射線治療で働く身として、今回の講義内容はとても重要であり、これまでの理解度がいかに低かったのかを痛感させられました。今回受講したことで、統計や不確かさの考え方について理解を深めることができ、今後も勉強しようというモチベーションに繋げることができました。しっかり自施設にもフィードバックできるよう学んだことを復習しながら日々の業務に取り組んでいきたいと思います。



日本診療放射線技師連盟 2023 No. 7 ニュース (通巻No.87)

発行日 令和 5 年 7 月 31 日
発行所 日本診療放射線技師連盟
〒108-0073 東京都港区三田1-4-28
三田国際ビル22階
TEL.070-3102-1127 FAX.03-6740-1913

連盟活動報告

① 7月24日(月) 日本診療放射線技師連盟 web 懇談会開催



初めての試みとして、診療放射線技師の資格を持つ国及び地方議会議員の先生方とweb ミーティングを通じて意見交換を行いました。

事務局からのお願い

睦元将吾代議士後援の自民党入党は右のQRコードから登録できます。

本連盟の年度は1月から12月となっております。

2021年第2回理事会において、年会費は一律 2,000円となりました。

また、寄付によるご支援も随時受け付けております。

郵便局 備え付けの振込取扱票を使用してお振込みの場合

→ 口座記号・口座番号 00100-2-667669

ゆうちょ銀行に直接お振込みの場合

→ 店名(店番):019 当座預金

口座番号:0667669

加入者名 日本診療放射線技師連盟



日本診療放射線技師連盟 2023 No. 8 ニュース (通巻No.88)

発行日 令和 5 年 8 月 29 日
発行所 日本診療放射線技師連盟
〒108-0073 東京都港区三田1-4-28
三田国際ビル22階
TEL.070-3102-1127 FAX.03-6740-1913

連盟活動報告

- ① 8月 7日(月) 衆議院議員かみかわ陽子アフタヌーンセミナーに出席
- ② 8月28日(月) 根本匠シンポジウムに出席



根本 匠 衆議院議員

国民に最善の医療を届けるために診療放射線技師を支援する
議員連盟(放射線技師議連) 設立発起人代表

事務局からのお願い

畦元将吾代議士後援の自民党入党は右のQRコードから登録できます。

本連盟の年度は1月から12月となっております。

2021年第2回理事会において、年会費は一律 2,000円となりました。

また、寄付によるご支援も随時受け付けております。

郵便局 備え付けの振込取扱票を使用してお振込みの場合

→ 口座記号・口座番号 00100-2-667669

ゆうちょ銀行に直接お振込みの場合

→ 店名(店番):019 当座預金

口座番号:0667669

加入者名 日本診療放射線技師連盟



超音波画像研究会

第29回腹部エコー初心者講習会

超音波検査を始めよう、または始めて間もない医師・看護師・臨床検査技師・診療放射線技師の方を対象とした講習会で、講義と実技の二本立てで、二日間の日程で開催致します。

初日は超音波画像の成り立ちや画像調整から各臓器のメルクマールとなる超音波解剖を分かりやすく解説致します。二日目は初日の講義を基に、装置1台につき4～5名前後で実習を行い、実際に走査をしながら基本断面の描出を目指していきます。

日 時：2023年11月25日（土）14時30分～17時40分
11月26日（日） 9時00分～17時00分

会 場：エムティ・エンド・エムティピー（株）
（東京都新宿区西早稲田2-20-15 高田馬場アクセス12F セミナールーム）

定 員：20名（定員となり次第受付を終了致します。また、最低開催人数に達しない場合は費用返却の上、中止する場合があります。）

参 加 費：25,000円（昼食含む）
（会費は事前に銀行振り込みとなります。）

申し込み方法：E-mail・郵送にて
（申し込みに関する詳細は超音波画像研究会ホームページをご覧ください。）

超音波画像研究会ホームページ：

<http://us-image.kenkyuukai.jp/information/>

お問い合わせ先：超音波画像研究会（群馬県高崎市間屋町3-3-4）

E-mail：us.image.workshop@gmail.com

TEL：027-388-8627（10時00分～17時00分まで）

会員動向

2023年4月～8月期

年 月	月末会員数	新 入	転 入	転 出	退 会
2022年度末集計	2,448	210	38	31	90
2023年 4月	2,477	26	8	3	2
2023年 5月	2,512	32	5	1	1
2023年 6月	2,549	36	5	1	3
2023年 7月	2,584	32	4	1	0
2023年 8月	2,606	25	0	1	2

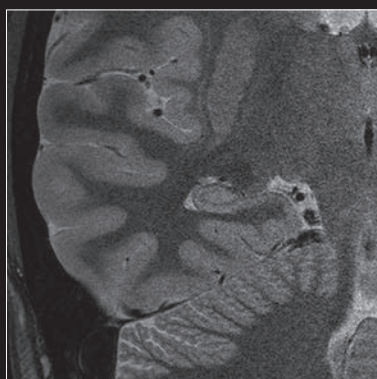
Canon

MRIに搭載、キヤノンのAI技術。

AI × 高精細

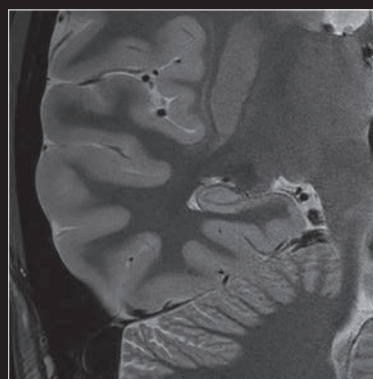
MRIとディープラーニングの出会いが、見える世界を大きく変える。

Original



ディープラーニングを用いて設計したノイズ除去再構成技術
Deep Learning Reconstruction (DLR)

AiCE
Advanced intelligent Clear-IQ Engine



0.15 x 0.15 mm iResolution, FOV 8cm

Advanced intelligent Clear-IQ Engine (AiCE)

本システムは画像再構成に用いるネットワーク構築にDeep Learningを使用しており、本システム自体に自己学習機能を有していません。



MRI AiCE

キヤノンメディカルシステムズ株式会社 <https://jp.medical.canon>

E000015-04

東京放見聞録



バーベキュー&テントサウナ

天候にめぐまれた9月3日(日)に、東京都あきる野市にある自然休養村山溪で4年ぶりに開催された「多摩放技レクリエーション大会・親睦会」に参加してきました。

当日は朝8時11分 新宿発の特快に乗り、8時53分に拝島着。乗り継ぎに15分あったので、まずは缶ビールで乾杯。9時25分に武蔵五日市に到着。久しぶり～空気が美味しい。美味しいビールを飲むために山溪まで30分歩くことに。10時00分山溪着。またまた缶ビールで乾杯。

11時00分 多摩放技レクリエーション大会・親睦会が開幕。今度は生ビールで乾杯。

今回は多摩放技の粋な計らいで、今流行りの「河原でテントサウナ」、いわゆる「サ道」を楽しみました。サウナ内に入れた薪ストーブで熱したサウナストーンに水やアロマ水をかけ、その暑い蒸気でテント内を蒸らす「ロウリュ」で汗だくで火照った体を、目の前の澄んだ秋川溪流を水風呂がわりにクールダウンして「ととのう」を体験する最高の贅沢を味わうことができました。

BBQは例年通り、炭火の上に鉄板を引き、肉や野菜、魚介類などを豪快に焼きました。私はビール片手に焼きあがって、盛り付けられた料理を食べるだけのこれまた贅沢。

久しぶりにお会いできた方、初めての方との会話も弾み、飲んで食べてのあっと言う間の楽しい3時間でした。

企画・運営は大変だと思いますが、来年も楽しみにしています。

by まサル



学術講演会・研修会等の開催予定

日時や会場等の詳細につきましては、会誌及びホームページでご案内しますので必ず確認してください。

2023年度

1. 学術研修会

第18回ペイシェントケア学術大会 2023年11月25日(土)

第23回メディカルマネジメント研修会 未定

☆第21回ウインターセミナー 未定

☆2. 日暮里塾ワンコインセミナー

第147回日暮里塾ワンコインセミナー Web開催 2023年11月21日(火)

☆3. 第23回東放技・東京支部合同学術講演会 未定

4. 集中講習会

第13回MRI集中講習会 未定

☆5. 支部研修会

城西支部研修会 Web開催 2023年11月10日(金)

城南・城北・多摩支部研修会 未定

6. 地区研修会

第3地区研修会 Web開催 2023年10月13日(金)

第13地区研修会 Web開催 2023年11月9日(木)

第14地区研修会 Web開催 2023年11月24日(金)

第5地区研修会 ハイブリッド開催 2023年12月1日(金)

第12地区研修会 2024年2月8日(木)

7. 専門部委員会研修会

SR推進委員会研修会 未定

8. 地球環境保全活動

荒川河川敷清掃活動「荒川クリーンエイド2023」 2023年10月29日(日)

9. 東放技参加 行政祭り等

第46回練馬まつり 2023年10月15日(日)

中央区健康福祉まつり2023 2023年10月22日(日)

OTAふれあいフェスタ2023 2023年11月4日(土)～5日(日)

東村山市民健康のつどい 2023年11月11日(土)～12日(日)

☆印は新卒かつ新入会 無料招待企画です。

(新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう)

公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修会等申込書

研修会名	第 回		
開催日	令和 年 月 日() ～ 月 日()		
会員/非会員 (必須)	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/> 一般 ※ 日放技会員番号(必須) [] <input type="checkbox"/> 新卒かつ新入会の方はチェック		
所属地区	第 地区 または 東京都以外 [] 県		
ふりがな			
氏 名			
性 別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性		
連絡先	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 施設 ⇒ 施設名 []		
	TEL (必須)		
	FAX		
	メール (PCアドレス)		
備 考			

FAX 03-3806-7724

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所

登録事項変更届

公益社団法人東京都診療放射線技師会 殿
公益社団法人日本診療放射線技師会 殿

会 員 番 号	
氏 名	印
氏名（カタカナ）	
性 別	男性 ・ 女性
生 年 月 日	昭和 ・ 平成 年 月 日生
メールアドレス	

下記のとおり、登録事項の変更をお願い申し上げます。

□氏名の変更

改姓（変更後の氏名）	
------------	--

□送付先変更

現在の送付先	勤務先 ・ 自宅
新 送 付 先	勤務先 ・ 自宅

□住所等の変更

新 勤 務 先	勤 務 先 名	部署
	勤務先所在地	〒 ー
	電 話	
旧 勤 務 先		
新 自 宅	現 住 所	〒 ー
	電 話	
旧 自 宅 住 所		

□その他

通 信 欄	
-------	--

受 付 令和 年 月 日
確 認 令和 年 月 日 印

Postscript

先日、第39回日本診療放射線技師学術大会（熊本大会）に参加された方はお気づきかと思いますが、今大会から受付が少し変わりました。これまでは「会員カードのバーコード」で受付を行っていましたが、今大会では各自が印刷して持参した「ネームカードのQRコード」に変わりました。来年の技術学会秋季大会との合同開催に向けてシステムの刷新を行っているためです。

大会受付を「会員カードのバーコード」で行うようになったのは2012年。前年の2011年は3月に東日本大震災という未曾有の災害が発生し大会開催も危ぶまれました。しかし準備をしてきた青森県実行委員会のご努力により開催することができました。この時までの参加受付は紙の事前登録リストと照合しての受付でした。しかし参加者が多く、受付に30分以上の待ちが発生してしまいました。

そこで「会員カードのバーコード」での受付システムが導入されました。愛知、島根、大分、岐阜と大会ごとに

改善され、参加受付での待ちは解消されました。このシステムはクラウドシステムを利用してJARTISのデータベースと照合することで会員照合を行っていました。

近年、技師会と技術学会のコラボレーションが進み、地域大会では技師会と技術学会の共同開催が行われるようになってきました。そしてついに来年、技術学会秋季大会との合同開催が行われることになりました。2つの会はそれぞれ別のシステムで運用されているため、別々の運用では会員さんに不便をかける可能性があり、本会のシステムが運用開始より10年以上が経過していることなどから、親和性の高いシステムに更新することとなりました。今年は初めての運用でしたが、来年の合同開催に向けてさらなる改善がされる予定です。

（すえぞう）

■ 広告掲載社

富士フイルムメディカル(株)

コニカミノルタジャパン(株)

キャノンメディカルシステムズ(株)

光製薬(株)

PDRファーマ(株)

東京放射線 第70巻 第9号

令和5年9月25日 印刷（毎月1回1日発行）

令和5年10月1日 発行

発行所 東京都荒川区西日暮里二丁目22番1 ステーションプラザタワー505号
〒116-0013 公益社団法人東京都診療放射線技師会

発行人 公益社団法人東京都診療放射線技師会
会長 江田 哲 男

振替口座 00190-0-112644

電話 東京 (03) 3806-7724 <https://www.tart.jp/>

印刷・製本 株式会社キタジマ

事務所 執務時間 月曜～金曜 8時30分～16時00分

案内 ただし土曜・日曜・祝日および12月29日～1月4日は執務いたしません
TEL・FAX (03) 3806-7724

編集スタッフ

浅沼雅康

岩井譜憲

森 美加

高橋克行

田沼征一